

① 申請者	◎鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
砂丘の国に生き続ける ^{れいじゅう} 霊獣～幸福を導く ^{きりんじしまい} 麒麟獅子舞～			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>中国地方の北側に位置する山陰東部には、緋色の衣装と黄金に輝く一角の仮面をまとった麒麟獅子舞が継承されている。麒麟は他の生き物を傷つけない霊獣で、泰平の世の象徴とされ、鳥取藩主池田家が領国と民衆の泰平を願ひ^{かんじょう}勸請した東照宮の祭礼行列に、麒麟の顔をした舞として登場した。</p> <p>麒麟に憧れた人々は、こぞって村々に取り入れ、麒麟獅子舞は人々に幸福を授ける存在として地域を代表する芸能となった。</p> <p>現在では、約180の村ごとに異なる固有の舞が受け継がれ、祭礼や鳥取砂丘などの観光名所でほぼ1年を通じて舞われており、人々は麒麟に触れ、そのご利益に浴することができる。</p>			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名	①鳥取市教育委員会 文化財課 佐々木孝文 ②鳥取市企画推進部 文化交流課 平井 宏和		
電 話	①0857-20-3359 ②0857-20-3226	FAX	①0857-20-3050 ②0857-20-3040
E-mail	①kyo-bunka@city.tottori.lg.jp ②bunka@city.tottori.lg.jp		
住 所	鳥取市尚徳町116番地		



市町村の位置図（地図等）



※複数ページにわたっても可

構成文化財の位置図（地図等）

※構成文化財がある地域を拡大し、構成文化財の位置を示す
(様式 3 - 1 の番号に対応させること)



岩美町



若桜町	八頭町
-----	-----



智頭町



香美町	新温泉町
-----	------



ストーリー

「麒麟」とは、古来より、他の生き物を傷つけない泰平の世の象徴とされた霊獣である。中国地方の北側に位置する山陰東部には、この麒麟に扮して舞う「麒麟獅子舞」という幻想的な芸能が伝わっている。麒麟獅子舞は、緋色の衣装と黄金に輝く一角の仮面をまとった麒麟を、真っ赤な面をつけ、腰に酒の入った瓢箪を下げた「猩々」が先導する舞である。

麒麟獅子舞は、人々に幸福をもたらす芸能として地域に愛されており、約180の村々の250日を超える祭礼催事で、ほぼ1年を通じて舞われている。



麒麟獅子と猩々（鳥取市）

◆鳥取藩主池田家と「麒麟」

麒麟がこの地に舞い降り、獅子舞と融合したのは約400年前のことだった。

初代鳥取藩主となった池田光仲は、この地に善政を敷くことを誓い、その中心となる鳥取城下町に、江戸幕府を開き、天下に泰平をもたらした偉大な曾祖父・徳川家康を祀る「東照宮」という神社を勧請した。その最初の祭礼行列の中心をきらびやかに飾ったのが麒麟獅子舞である。



鳥取東照宮（鳥取市）

日本各地の神社の祭礼等で舞われる獅子舞は、猛獣である獅子の顔をかたどっているが、光仲はこれを穏やかで優しい麒麟の顔に置き換え、領国と民衆の泰平を願ったのである。

東照宮の祭礼は藩主や武士だけでなく、城下町の町人や農村の有力者も特別にその参加を許されるなど賑やかなものであり、周辺諸国から集まった見物人たちに、東照宮と君主への敬意を起こさせるものであった。そして、その祭礼行列に登場する麒麟を初めて見た人



因幡東照宮祭礼行列絵巻に登場する麒麟獅子舞

々は衝撃を受け、麒麟もまた、求めに応じて家々をまわって舞い、そのご利益を分け与えるなど、人々を楽しませたのである。

人々は、東照宮祭礼を見るばかりでなく、自分たちの村の祭りにも麒麟獅子舞を取り入れたいと強く願い、村の獅子を麒麟の顔へと置き換えていった。これが麒麟獅子の誕生である。池田家が統治した時代の麒麟の顔が今なお20個近くも残るほど、人々の麒麟獅子への憧れは強いものであった。しかし一方で、その舞い方は、藩の任命する「獅子庄屋」が神聖なものとして厳しく取り締まるなど、秘伝とされていたため、特に許された場合以外は習得が許されるものではなかった。それでも「東照宮祭礼の舞い方を盗み見て覚えた」という言い伝えが残るなど、麒麟を招き入れようとする、当時の人々の熱い想いは絶大なものであった。

◆村々へと広がる「麒麟獅子舞」

明治維新により池田家がこの地を去ると、東照宮の祭礼は中絶したが、その麒麟獅子舞は地域の有

力な神社によって継承される。藩がなくなり、獅子庄屋秘伝の舞が開放されると、地域では、東照宮祭礼を知らない村の青年たちが担い手となり、我も我もと麒麟獅子舞を習得した。こうして人々に泰平をもたらし幸福を授ける麒麟獅子舞は、多くの村々へと広がり、受け継がれていった。

ただし、麒麟獅子舞を習得する際には、必ず一か所、手本とは異なる舞い方をするという^{なら}習わしがあったため、伝承された数だけ、異なる麒麟獅子舞が生まれた。一頭で舞うものや二頭で舞うもの、日本海を彷彿させる荒々しい動きの「海の舞」、里山を想わせる優しい「山の舞」といった特徴ある動作や笛、太鼓などの^{はやし}囃子の曲調・テンポの違い、麒麟獅子、猩々の顔かたちでさえ、どれ一つとして同じものはない。麒麟に対する先人たちの想いを大切に受け継ぎながら、麒麟獅子舞は、時代や人、場所に合わせ、多種多様な個性と形態を持つ芸能となっていった。

また、麒麟獅子舞は、^{ごこくほうじょう}五穀豊穰や^{むびょうそくさい}無病息災のご利益を求める地域の神社の祭礼で舞われるだけでなく、明治末期に初めてこの地に敷設された鉄道山陰本線の開通といった祝いの場合や、昭和初期には、この地を訪れることが珍しかった外国人の^{ひんきやく}賓客をもてなす際に舞われるなど、「晴れの舞台」にも欠かせない存在として、地域を代表する伝統芸能へと定着していったのである。



鉄道山陰本線「餘部駅」の開業
(香美町)

◆今に生き続ける「麒麟」

現在、麒麟獅子舞は村々の祭りや新たな幸福を祝う晴れの舞台で、青年たちを担い手に生き続けている。

中には、小中学生がその担い手となる「こども獅子」や高校生によるクラブ活動もあり、成人式をはじめ、地域の祝い事で披露されるなど、麒麟獅子舞は世代を越えて、この地を象徴する芸能として息づいている。

また、麒麟獅子が舞う神社を訪れば、^{しゃそう}社叢の木に吊るされた「^{わらじ}草鞋の投げ上げ」という麒麟獅子舞の風習に触れられ、まちを歩けば、麒麟獅子舞の意匠が^{ほどこ}施されたバスが走り、街なかにはモニュメントが設置されるなど、いたるところで麒麟獅子に出会うことができる。麒麟獅子は、地域の一部に溶け込み、シンボリックな存在として、人々の目をなごませ、楽しませている。

近年では、鳥取砂丘や白砂青松の渚が広がる日本海沿いの景勝地といった多くの来訪客を迎える観光名所でも舞われ、訪れる人々も身近に触れ合える存在となっている。そこでは人々の頭を麒麟獅子がやさしく噛み、子どもには知恵を、大人には健康を授けている。

この地では、400年経った今も生き続ける「麒麟」に触れ、そのご利益に浴することができる。



「こども獅子」による舞 (鳥取市)



麒麟獅子に頭を噛まれる子ども
(鳥取市)

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	因幡・但馬の麒麟獅子舞 いなば たじま きりんじしまい	国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 鳥取県指定無形民俗文化財 7 件・未指定を合わせ 173 件 兵庫県指定無形民俗文化財 3 件・香美町指定無形民俗文化財 1 件・新温泉町指定民俗文化財 6 件	ストーリーの中核である霊獣「麒麟」をかたどった顔を持つ、この地域でのみ舞われる獅子舞。 江戸時代、初代鳥取藩主・池田光仲が勧請した東照宮の祭礼に登場。その後、山陰東部の因幡・但馬地域に広まり、現在では約 180 か所で舞われている。継承された時代、場所、人によって様々な形態を持ち、一つとして同じものはない。	鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・兵庫県香美町・新温泉町
②	樗谿神社本殿・幣殿・拝殿・唐門 おうちだにじんじやほんでん へいでん ばいでん からもん	国重要文化財	池田光仲がこの地の善政を誓い、偉大な曾祖父・徳川家康を祀るため、勧請した神社。麒麟獅子舞の発祥の地とされ、現在の神社の名称は鳥取東照宮。	鳥取県鳥取市
③	大雲院 だいうんいん	未指定	鳥取東照宮の別当寺院。明治期の神仏分離令により樗谿神社と分離し、現地に移転。本来は鳥取東照宮と一体の寺院。東照宮の宝物を受け継ぎ、麒麟獅子の原型となったとおもわれる懸仏がある。	鳥取県鳥取市
④	東照宮祭礼絵巻 とうしょうぐうさいれいえまき	未指定	池田光仲によって勧請された因幡東照宮の祭礼を描いた絵巻物。祭礼行列の中に神の徳を分け与える麒麟獅子舞と、それを慕い祭礼を見物する民衆の姿が描かれている。	鳥取県鳥取市
⑤	鳥取城跡 附 太閤ヶ平 とっとりじょうあとつけたりたいこうがなる	国史跡	東照宮を勧請し、当地に麒麟をもたらした鳥取藩主池田家の居城跡。明治 40 年の巡幸の際に、時の皇太子が麒麟獅子舞を観覧した。	鳥取県鳥取市
⑥	鳥取藩主池田家墓所 とっとりはんしゅいけだけぼしよ	国史跡	統治者であった池田家の墓所。現在、秋に行われる「燈籠会」では東照宮祭礼を継承する麒麟獅子舞が舞われる。	鳥取県鳥取市
⑦	宇倍神社 うべじんじや	未指定	因幡一宮で古くから信仰を集める有力な神社の一つ。明治維新以降、中絶しかけた東照宮祭礼の麒麟獅子舞の舞い方を継承し、その流れを伝えた。	鳥取県鳥取市

⑧	くまのじんじや 熊野神社	未指定	名勝・浦富海岸 ^{うらどめかいがん} にある神社。夏の例大祭等で麒麟獅子舞が舞われる。	鳥取県岩美町
⑨	わかさじんじや 若桜神社	鳥取県指定文化財（社叢）	兵庫県最高峰の氷ノ山 ^{ひょうのせん} を背に、麒麟獅子舞が舞われる。若桜神社大祭の舞は、藩主に特に許されたものとされる。	鳥取県若桜町
⑩	むしいじんじや 虱井神社	鳥取県指定文化財（社叢）	大正 10 年、本殿を現在地に移した際、その例祭に麒麟獅子舞が登場。麒麟獅子舞は宇倍神社から習得したとされる。	鳥取県智頭町
⑪	さわじんじや 澤神社	未指定	本神社の麒麟獅子舞は池田光仲の寝具を蚊帳 ^{かや} として舞ったとされる。現在では、八東駅 ^{はつとう} の貨物車両の復元を祝う晴れの舞台等にも麒麟獅子舞が登場している。	鳥取県八頭町
⑫	かわすそまつ 川下祭り	新温泉町指定無形民俗文化財	但馬三大祭りの一つ。その中で行われる渡御行列 ^{とぎよぎょうれつ} に麒麟獅子舞も加わる。麒麟獅子舞が奉納される宇都野神社 ^{うつのじんじや} は但馬でその伝承が最も古い神社である。	兵庫県新温泉町
⑬	じゅうにしやじんじや 十二社神社	未指定	最東端の麒麟獅子舞を伝える神社。麒麟獅子舞は、香住海岸 ^{かすみかいがん} にある鑑漁港 ^{よるいぎょこう} 等を舞い歩く。	兵庫県香美町
⑭	てつどうさんいんほんせん 鉄道山陰本線	未指定	明治 45 年に全線開通の鉄道。麒麟獅子舞は、鉄道工事の完成や駅の開業などを祝って舞われた。	鳥取県鳥取市・岩美町・兵庫県香美町・新温泉町
⑮	わかさてつどうわかさせん 若桜鉄道若桜線	国登録有形文化財（駅舎等）	昭和 5 年開業の国有鉄道の線路。若桜神社の麒麟獅子舞が、祭礼時に若桜駅構内で舞うなど、晴れの舞台に登場している。	鳥取県若桜町・八頭町
⑯	とつとり ききゅう 鳥取砂丘	天然記念物	東西 16km、南北 2.4km に広がる日本を代表する海岸砂丘。麒麟獅子舞は、地域を象徴する芸能として、観光客を迎えている。	鳥取県鳥取市

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

構成文化財の写真一覧

いなば きりんじしまい かる じんじゃ
①因幡の麒麟獅子舞 (賀露神社)



だいりんいん かけぼとけ
③大雲院 (懸仏)



たじま きりんじしまい うつ の じんじゃ
但馬の麒麟獅子舞 (宇都野神社)



とうしょうぐうさいれいえまき
④東照宮祭礼絵巻



おうちだにじんじゃ ほんでん
②樗谿神社 (本殿)



とっとりじょうあとつげたりたいこう なる
⑤鳥取城跡 附 太閤ヶ平



※複数ページにわたっても可

とっとりはんしゅいけだ けぼしよ
⑥鳥取藩主池田家墓所



わかさじんじゃ
⑨若桜神社



う べ じん じゃ
⑦宇倍神社



むし い じん じゃ
⑩虫井神社



くまの じん じゃ
⑧熊野神社



さわ じん じゃ
⑪澤神社



かわすそまつ
⑫川下祭り



わかさてつどうわかさせん
⑮若桜鉄道若桜線



じゅうにしやじんじゃ
⑬十二社神社



とっとりさきゅう
⑯鳥取砂丘



てつどうさんいんほんせん
⑭鉄道山陰本線



日本遺産を通じた地域活性化計画

(1) 将来像 (ビジョン)						
<p>本圏域共通の伝統芸能である「麒麟獅子舞」とその舞台となる鳥取砂丘をはじめとする観光名所および関連する文化財等を組み合わせた周遊ルートや観光商品など、新たなブランドを開発し、滞在型・周遊型の観光を推進する。また、日本遺産の普及啓発による圏域の活性化や人材育成、いつでも麒麟獅子舞に触れることができる受入環境を整備するとともに、日本遺産認定の三徳山・三朝温泉、大山等との連携を深め、国内はもとより外国人観光客の獲得に向けた情報発信等の取り組みを積極的に展開する。</p>						
(2) 地域活性化のための取組の概要						
<p>①日本遺産「麒麟のまち」魅力発信推進協議会(仮称)による民間主導の魅力づくりの推進 将来像の実現に向け、体系的な取り組みを実施するため、民間を中心に行政も参画する推進協議会を設置し、日本遺産を生かした魅力づくりを進める。推進にあたっては、平成30年4月の設立を目指すDMOとの連携を見据え、地域の活性化を図る。また、協議会の中に専門部会を設け、円滑な運営と効率的な取り組みを推進する。</p>						
<p>②麒麟獅子舞を中核とする日本遺産麒麟のまちブランドの開発と国内外への情報発信 本圏域を訪れる外国人をはじめとする観光客を更に増加させるため、麒麟獅子舞を中核とする日本遺産麒麟のまちブランドを新たに確立し、広報ツールの開発や国内はもとよりドイツ、ロシア、韓国、香港、台湾など交流する国際姉妹都市、近隣諸国等と連携した情報発信、プロモーション活動を展開する。(H29.4月 麒麟のまち関西情報発信拠点が大阪市にオープン予定)</p>						
<p>③日本遺産による圏域機運の醸成と普及啓発・人材育成 麒麟獅子舞の魅力を中心として、圏域内外に普及啓発するとともに、地域の活性化を図るため、自治会や学校、ガイド団体等と連携し、観光客等へその魅力を伝えるガイドの養成など、人材の育成を図る。</p>						
<p>④史跡鳥取城跡、鳥取藩主池田家墓所等の整備と魅力の向上 史跡鳥取城跡や鳥取藩主池田家墓所など、他省庁とも連携した構成文化財等の保存・活用に必要な整備を進め、日本遺産を通じた観光拠点としての更なる魅力の向上を図る。</p>						
<p>⑤麒麟獅子舞を中核とする受入環境の充実 日本遺産のストーリーを視覚に訴え、理解を深めてもらうため、因幡万葉歴史館等において、映像等による麒麟獅子舞の紹介や常時、舞を観覧できる拠点施設を整備するとともに、案内板や案内コーナー等の設置など、受入環境の充実を図る。</p>						
<p>⑥広域連携による人・モノの交流の活発化 本圏域は構成文化財等が広域に点在していることから、魅力ある地域資源や他の文化財と組み合わせた「面」として楽しめる周遊ルートや観光商品を開発し、人・モノの交流を活発化するとともに、三徳山・三朝温泉、大山など他の日本遺産とも連携を図り、交流人口の拡大を図る。</p>						
(3) 自立的・継続的な取組						
<p>日本遺産を通じた圏域の活性化の推進にあたっては、「日本版DMO(観光地域づくり法人)候補法人」として観光庁に登録された観光協会、経済団体等で構成する「鳥取・因幡観光ネットワーク協議会」を中心に、平成30年4月にDMOの設立を目指す。その機能の中で、日本遺産に関連するマーケティングや着地型観光企画商品の開発・販売、プロモーション活動等により稼ぐ力を身につけ、自立へとつなげる。また、他の日本遺産認定ブランドとの連携を図り、相乗効果による継続的な事業展開を進める。</p>						
(4) 実施体制						
<p>・協議会の名称 日本遺産「麒麟のまち」魅力発信推進協議会(仮称)</p> <p>・構成団体(予定) 1市6町(鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町の各観光担当課)、因幡・但馬の麒麟獅子舞の会、1市6町観光協会、鳥取・因幡観光ネットワーク協議会、いなば温泉郷協議会、鳥取商工会議所、1市6町商工会、公益社団法人鳥取青年会議所、山陰合同銀行、鳥取銀行、鳥取信用金庫、但馬銀行、公立鳥取環境大学、交通事業者(日本交通、日ノ丸自動車、全但バス、鳥取県ハイヤー協同組合東部支部)など ※協議会の運営にあたっては、行政、民間、外部有識者等を中心とする専門部会(事業推進部会、広報部会等)を設け、円滑な推進を図る。</p>						
(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果		定量的評価: 別紙①のとおり				
期待される効果:	<p>麒麟獅子舞に対する圏域住民の関心が高まることで、麒麟獅子舞とともに語られる本圏域の構成文化財の保護・保存と次世代への継承が期待できる。また、麒麟獅子舞を中核とするこれまでなかった圏域の新しいブランドの開発により、新たな観光客層の掘り起しが期待でき、地域の活性化につながる。</p>					
(6) 日本遺産魅力発信推進事業		別紙②のとおり				
補助金額:	平成29年度:	42,631千円	平成30年度:	25,988千円	平成31年度:	11,043千円
(7) その他事業		別紙③のとおり				

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化		
計画評価指標：	観光客入込み数 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	麒麟のまち圏域(1市6町)の観光客入込み数		
目標値：	平成 27 年度	6,300,000 人	⇒ 平成 34 年度 8,000,000 人
設定根拠：	1市6町の総観光客入込み数をH34には8,000,000人へ増加(H27から約27%増)させる。		
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化		
計画評価指標：	地域の文化に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	鳥取市民アンケート調査における「地域の住みやすさについての満足度」のうち、「文化遺産、伝統芸能の保存継承」に対する満足度(満足、やや満足)		
目標値：	平成 27 年	36 %	⇒ 平成 34 年 60 %
設定根拠：	前回調査の満足度36%を、日本遺産の取組により次回調査では60%まで増加させる。		
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化		
計画評価指標：	その他 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	圏域内の学校、住民主体で行われる日本遺産を理解する講座等の取組件数		
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒ 平成 34 年度 20 件
設定根拠：	補助金を受けるH31までに10件の取組を促進し、以後、毎年約30%の増加を設定		
設定目標Ⅲ：	日本遺産の関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立		
計画評価指標：	日本遺産関連で開発された商品・サービス数 (具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	圏域事業者による日本遺産関連商品の作成数		
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒ 平成 34 年度 20 件
設定根拠：	補助金を受けるH31までに10件の商品開発を行い、以後、毎年30%の増加を設定		
設定目標Ⅳ：			
計画評価指標：	(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：			
目標値：	平成	年度	⇒ 平成 年度
設定根拠：			

様式4 (別紙②)

(6) 日本遺産魅力発信推進事業

事業①： 日本遺産ホームページ制作 (多言語対応)			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 6,621千円 331,020円×20P	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円
事業概要：	日本遺産を紹介する多言語対応 (英語・中国語・韓国語) のホームページを制作。ストーリーや構成文化財、周遊ルートの紹介、ガイドブックや映像の掲載のほか、三徳山・三朝温泉、大山など既に認定を受けた日本遺産等も併せて情報発信。(スマートフォン対応)		
評価指標区分：	ホームページ閲覧数 (PV数)	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	日本遺産専用ホームページを制作・開設し、H34までに総アクセス数300,000件を目指す。		
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒ 平成 34 年度 300,000 件
事業②： 麒麟獅子舞ARコンテンツ制作			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 7,479千円 企画・設定・撮影費等1式	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円
事業概要：	スマートフォン等のアプリを通じて、ストーリーの中核である麒麟獅子舞が自然や文化財等を背景に見える疑似体験を実現。いつ行っても麒麟獅子舞を見ることができる環境を整備。		
評価指標区分：	コンテンツダウンロード数 (掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等)	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	アプリ登録ユーザー数 (H30供用開始：1,000人→H34：5,000人を目指す)		
目標値：	平成 28 年度	0 人	⇒ 平成 34 年度 5,000 人
事業③： 日本遺産ガイドブック制作 (多言語対応)			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 6,232千円 24,000部×259.65円	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円
事業概要：	日本遺産を紹介する多言語対応 (英語・中国語・韓国語) のガイドブックを制作。ストーリーや構成文化財、圏域の周遊ルートの紹介のほか、三徳山・三朝温泉、大山など既に認定を受けた日本遺産等も併せて掲載し、効果的な情報発信を行う。		
評価指標区分：	補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数 (自主事業分)	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	補助事業終了後に自主事業によるガイドブックの増刷数 (H29補助事業により制作。以後H34までに、自主事業として累計10,000部増刷)		
目標値：	平成 28 年度	0 部	⇒ 平成 34 年度 10,000 部
事業④： 日本遺産ポスター制作			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 1,458千円 2,000枚×729円	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円
事業概要：	日本遺産認定のストーリーを紹介するポスター (2,000枚) を制作。		
評価指標区分：	補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数 (自主事業分)	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	補助事業終了後に自主事業によるポスターの増刷数 (H29補助事業により制作。以後H34までに、自主事業として累計1,000枚増刷)		
目標値：	平成 28 年度	0 枚	⇒ 平成 34 年度 1,000 枚

事業⑤：日本遺産PR映像制作（多言語対応）			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度
補助金額：	平成29年度： 5,994千円	平成30年度：	0千円
(積算)	平成31年度： 0千円		
事業概要：	企画構成、撮影、音源制作等1式		
事業概要：	日本遺産のストーリーと構成する文化財をPRする映像（5～10分程度）を制作し、DVD化するとともに、動画共有サイト、ホームページ等を通じて発信。		
評価指標区分：	コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	動画再生回数（鳥取市PR動画を参照に設定。初年度8,000回（4か月）から事業⑤や自主事業による情報発信等と連動させ、H34には累計350,000回再生を目指す）		
目標値：	平成 28 年度	0 回	⇒ 平成 34 年度 350,000 回
事業⑥：留学生等と連携したSNSによる海外への情報発信			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度
補助金額：	平成29年度： 0千円	平成30年度：	600千円
(積算)	平成31年度： 0千円		
事業概要：	20人×30千円		
事業概要：	地元留学生等と連携した定期的なSNS（Facebook、Twitter等）による母国への情報発信。（20人×年20回程度）		
評価指標区分：	SNS上の情報発信の「いいね」の数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	補助事業によりH30で発信者の「いいね」数を10%増加。自主事業により、H34に30%の増加を目指す。		
目標値：	平成 28 年度	0 %増	⇒ 平成 34 年度 30 %増
事業⑦：日本遺産PRマスコットキャラクター制作			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度
補助金額：	平成29年度： 100千円	平成30年度：	2,052千円
(積算)	平成31年度： 0千円		
事業概要：	デザイン公募		
事業概要：	着ぐるみ、ボーディングデザイン制作		
事業概要：	麒麟獅子をモチーフとしたマスコットキャラクターを公募（H29）し制作。H30に着ぐるみ、キャラクターボーディングデザインを制作し、催事やホームページ、グッズ制作等での情報発信に活用する。		
評価指標区分：	コンテンツ制作数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	民間事業者による広報ツール等の開発のためのキャラクター使用許可件数（制作後、使用促進を図る。H30：10件⇒H31-H34の各年で50%の増加・H34に30件を目指す）		
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒ 平成 34 年度 30 件
事業⑧：日本遺産モデルコースPRチラシ制作（多言語対応）			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度
補助金額：	平成29年度： 0千円	平成30年度：	1,512千円
(積算)	平成31年度： 0千円		
事業概要：	63円×24,000部		
事業概要：	H29制作のホームページやガイドブックに掲載の周遊ルートのうち、アクセスや利用の多い周遊ルートを推奨モデルコースとして紹介するチラシを制作。		
評価指標区分：	補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	自主事業によるチラシの増刷数（H29補助事業により制作。以後H34年までに、自主事業として累計10,000枚増刷）		
目標値：	平成 28 年度	0 枚	⇒ 平成 34 年度 10,000 枚

事業⑨：メディアを活用した日本遺産情報発信			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 0千円	平成30年度： 11,340千円	平成31年度： 4,000千円
		取材招致・記事掲載	取材招致・記事掲載
事業概要：	訴求力の高い雑誌（旅行誌、交通機関誌、情報誌等）やTV、ウェブマガジン等ITメディアを活用した日本遺産の情報発信。		
評価指標区分：	ホームページ閲覧数（PV数）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	情報発信の効果を、H29制作の日本遺産ホームページの総アクセス数により効果測定する。		
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒ 平成 34 年度 300,000 件
事業⑩：日本遺産国際PR事業			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 0千円	平成30年度： 3,170千円	平成31年度： 3,500千円
		出展・企画費等1式（台湾等）	出展・企画費等1式（香港等）
事業概要：	本圏域に最も多く訪れる台湾、香港、韓国・中国人観光客の獲得に向けて、訪日向けの催事、商談会等を開催し、日本遺産の魅力を案内する。併せて現地の雑誌など、旅行関連の広報媒体と連携した取材による雑誌掲載を実施。		
評価指標区分：	宿泊者数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	鳥取市内に宿泊する外国人客数 (H27：10,296人から年15%増加×7年で21,000人を目指す)		
目標値：	平成 27 年度	10,296 人	⇒ 平成 34 年度 21,000 人
事業⑪：日本遺産ガイド育成事業			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 196千円	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円
	講師謝金、会場使用料		
事業概要：	ガイド団体と連携し、日本遺産認定のストーリーを紹介するガイドを育成するため、養成講座を開催。地域の歴史文化に精通する専門家を講師に開催。		
評価指標区分：	ガイド育成講座修了者の後年度活動者数	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	日本遺産の魅力を紹介するガイドの活動団体数 (H28現在0団体をH34には7市町に各1団体以上確保し、計10団体程度を目指す)		
目標値：	平成 28 年度	0 団体	⇒ 平成 34 年度 10 団体
事業⑫：日本遺産こどもガイド養成事業			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 0千円	平成30年度： 980千円	平成31年度： 0千円
		講座・現地学習会開催・お披露目イベント	
事業概要：	圏域内の小学生等を対象に、日本遺産の魅力を学習する講座や現地学習を行い、成果としてお披露目イベントを開催。地域の魅力を再認識する機会とし、次代を担う人材の育成につなげる。（講師：事業⑪で養成するガイド）		
評価指標区分：	その他	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	圏域の小学校等による自主的な講座、研修会等の開催 (H30：補助事業によりモデル的に実施。以後H31-34の4年間で累計20回の自主開催)		
目標値：	平成 28 年度	0 回	⇒ 平成 34 年度 20 回

事業⑬： 「日本遺産展」開催事業					
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
補助金額：	平成29年度： 3,586千円	平成30年度：	0千円	平成31年度：	0千円
(積算)	パネル作成等企画1式				
事業概要：	ストーリーの中核である麒麟獅子舞をはじめ、構成文化財など日本遺産の魅力をパネル等で紹介する「日本遺産展」を巡回型で開催。パネルは事業⑭⑮⑯等でも活用。				
評価指標区分：	日本遺産に関する商品開発数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	日本遺産を活用して取り組まれる地元住民、民間事業者主体の催事等の企画、商品の開発件数 (H29-H34までに各年10件×6年間＝計60件の企画・開発件数を目指す)				
目標値：	平成 28 年度	0 回	⇒	平成 34 年度	60 件
事業⑭： 「日本遺産認定シンポジウム」開催事業					
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
補助金額：	平成29年度： 532千円	平成30年度：	0千円	平成31年度：	0千円
(積算)	講演、チラシ作成等1式				
事業概要：	日本遺産認定を記念したシンポジウムを開催。麒麟獅子舞をはじめ構成文化財の重要性を再認識する機会とし、講演、住民参画型のパネルディスカッション等を開催。日本遺産認定のストーリーを地域の宝として普及・啓発。				
評価指標区分：	日本遺産に関する商品開発数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	日本遺産を活用して取り組まれる地元住民、民間事業者主体の催事等の企画、商品の開発件数 (H29-H34までに各年10件×6年間＝計60件の企画・開発件数を目指す)				
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒	平成 34 年度	60 件
事業⑮： 大都市圏における「日本遺産PRイベント」開催事業					
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
補助金額：	平成29年度： 2,883千円	平成30年度：	0千円	平成31年度：	0千円
(積算)	イベント開催経費1式				
事業概要：	H29.4月オープン予定の「麒麟のまち関西情報発信拠点」等で、麒麟獅子舞など日本遺産の魅力を紹介するパネル・映像展、麒麟獅子舞の披露等を実施。				
評価指標区分：	その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	関西における麒麟のまちアンバサダー登録人数 ※本圏域のファンとなっていただく方 (H29目標1,000人とし、H34までに自主事業により登録者数2,000人を目指す)				
目標値：	平成 28 年度	0 人	⇒	平成 34 年度	2,000 人
事業⑯： 麒麟獅子舞体験ワークショップ&スタンプラリー開催事業					
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
補助金額：	平成29年度： 0千円	平成30年度：	1,484千円	平成31年度：	0千円
(積算)		会場運営、チラシ等作成1式			
事業概要：	ストーリーの中核である麒麟獅子舞の舞や囃子等の体験、麒麟獅子民芸品製作体験等を行うワークショップを開催。また、ワークショップ会場を最終ポイントとする構成文化財などを巡るスタンプラリーを同時開催。ストーリーを実体験し、その魅力の向上を図る。				
評価指標区分：	日本遺産の認知度	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	補助事業によりH30実施。以後、自主事業により実施。アンケート調査 (H30-34実施) により日本遺産の認知度をH34には70%以上を目指す。				
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒	平成 34 年度	70 %

事業⑰：日本遺産周遊モニターツアーの実施	
事業区分：	普及啓発
事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度
補助金額：	平成29年度： 0千円 平成30年度： 962千円 平成31年度： 1,167千円
(積算)	旅費、バス借上、チラシ製作等 旅費、バス借上、チラシ製作等
事業概要：	関西圏の旅行会社 (H30)、外国人 (H31) をモニターとして募集。日本遺産を構成する周遊ルートを巡り、魅力や改善点などを分析し、受入環境整備につなげる。
評価指標区分：	日本遺産に関する旅行商品数 (具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	国内の旅行会社による日本遺産に関する旅行商品の造成数(モニター分析を踏まえ、H31-H34に企画商品を旅行会社へ提案。累計15件の商品造成を目指す)
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 34 年度 15 件
事業⑱：麒麟のまち日本遺産発信センター整備	
事業区分：	公開活用のための整備
事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額：	平成29年度： 4,453千円 平成30年度： 0千円 平成31年度： 0千円
(積算)	麒麟獅子舞紹介展示1式
事業概要：	麒麟獅子舞を中心とする構成文化財等を映像、パネル・民芸品等で展示・紹介する拠点をとっとり城下町交流館高砂屋(鳥取市)等に併設するための環境整備。
評価指標区分：	施設への入込み数 (具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	高砂屋の入込み数 (H26-H28の平均伸び率10%) を、H34に30,000人 (H28からの伸び率20%増) を目指す。
目標値：	平成 28 年 24,673 人 ⇒ 平成 34 年 30,000 人
事業⑲：麒麟のまち日本遺産PRコーナー設置事業	
事業区分：	公開活用のための整備
事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額：	平成29年度： 343千円 平成30年度： 0千円 平成31年度： 0千円
(積算)	20施設×17,112.4円
事業概要：	圏域内の観光施設等に日本遺産をPRするコーナーを設置し、施設利用者に対して情報発信を行う。(20施設予定)
評価指標区分：	施設への入込み数 (具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	圏域内で外国人観光客が最も利用する鳥取市国際観光客サポートセンターの案内人数 (H27：7,094人から年15%増加×7年で14,500人を目指す)
目標値：	平成 27 年度 7,094 人 ⇒ 平成 34 年度 14,500 人
事業⑳：日本遺産案内板整備事業	
事業区分：	公開活用のための整備
事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
補助金額：	平成29年度： 2,754千円 平成30年度： 0千円 平成31年度： 0千円
(積算)	30基×85,000円
事業概要：	日本遺産認定のストーリーと構成文化財を紹介する案内板を設置。案内板には麒麟獅子舞が疑似体験できるARコンテンツ(事業②)用のリーダーを表示し、現地にて麒麟獅子舞の世界を体感できるよう配慮する。
評価指標区分：	その他 (具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	アプリ登録ユーザー数(供用開始H30：1,000人→H34：5,000人を目指す)
目標値：	平成 28 年度 0 人 ⇒ 平成 34 年度 5,000 人

事業⑳：日本遺産構成文化財デジタルデータ化保存事業			
事業区分：	公開活用のための整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 0千円	平成30年度： 3,888千円	平成31年度： 2,376千円
		撮影1式	デジタルデータ作成・保存
事業概要：	圏域で舞われる約180の麒麟獅子舞をプロの写真家により撮影し、デジタルデータ化・記録保存するとともに、ポスター化し、長期的な情報発信コンテンツとして活用する。		
評価指標区分：	その他	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	補助事業終了後に自主事業によるポスターの増刷数 (H30-H31補助事業により制作。以後H34までに、自主事業として累計1,000枚増刷)		
目標値：	平成 28 年度	0 枚	⇒ 平成 34 年度 1,000 枚
事業㉑：			
事業区分：		事業期間：	平成 年度 ～ 平成 年度
補助金額： (積算)	平成29年度： 0千円	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円
事業概要：			
評価指標区分：		(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：			
目標値：	平成 27 年度	人	⇒ 平成 34 年度 人

(7) その他事業

事業① :	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業		
機関・ 団体 :	文化庁 :	事業期間 :	平成 19 年度 ~ 平成 47 年度
事業概要 :	国史跡鳥取城跡附太閤ヶ平の保存・活用のため、石垣の修理や建造物復元整備等を実施する。		
事業② :	史跡鳥取藩主池田家墓所保存整備事業		
機関・ 団体 :	文化庁 :	事業期間 :	平成 16 年度 ~ 平成 32 年度
事業概要 :	国史跡鳥取藩主池田家墓所の保存・活用のため、修復や公開活用等を実施する。		
事業③ :	重要文化財樗谿神社本殿幣拝殿及び唐門保存修理事業		
機関・ 団体 :	文化庁 :	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
事業概要 :	傷みの進んでいる屋根の葺き替え等の修理工事を行う。		
事業④ :	重要文化財仁風閣保存修理事業		
機関・ 団体 :	文化庁 :	事業期間 :	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度
事業概要 :	重要文化財仁風閣の建造物の保存修理を行う。		
事業⑤ :	麒麟のまち関西情報発信拠点設置運営事業		
機関・ 団体 :	文化庁以外の省庁 :	内閣府	事業期間 : 平成 28 年度 ~ 平成 30 年度
事業概要 :	H29.4月オープンの「麒麟のまち関西情報発信拠点」の運営(飲食、物産、マーケティング等)		
事業⑥ :	遊! 楽! 住! 県境を越えた日本一の海幸・山幸回廊づくり事業		
機関・ 団体 :	文化庁以外の省庁 :	内閣府	事業期間 : 平成 27 年度 ~ 平成 33 年度
事業概要 :	広域観光グランドデザインの実践、地域連携型DMO設立準備等		
事業⑦ :			
機関・ 団体 :	(リストから選択し てください。)	(具体的な機関)	事業期間 : 平成 年度 ~ 平成 年度
事業概要 :			
事業⑧ :			
機関・ 団体 :	(リストから選択し てください。)	(具体的な機関)	事業期間 : 平成 年度 ~ 平成 年度
事業概要 :			
事業⑨ :			
機関・ 団体 :	(リストから選択し てください。)	(具体的な機関)	事業期間 : 平成 年度 ~ 平成 年度
事業概要 :			
事業⑩ :			
機関・ 団体 :	(リストから選択し てください。)	(具体的な機関)	事業期間 : 平成 年度 ~ 平成 年度
事業概要 :			